

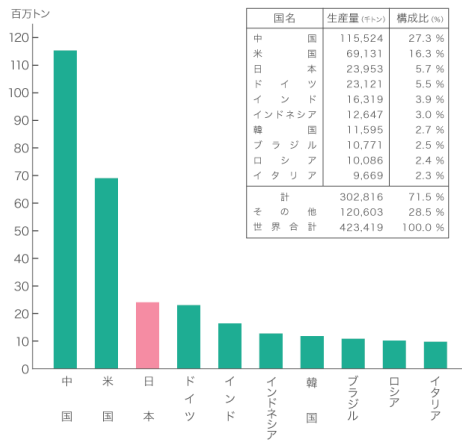
私たちの生活は生態系がもたらす恵みのうでで成り立っています。しかし、恵みをもたらす生態系が失われてしまう森林伐採の進行や砂漠化の進行、生物の大量絶滅などの問題が起こっています。私たちが生きていくうえで必要な生態系を守るために、何ができるのでしょうか。決して他人事にするのではなく、できることに取り組みうと三利特殊鋼ではSDGsへの理解と取り組みを進めています。

15 陸の豊かさも守ろう



## ペーパーレス化を目指して

日本の紙の生産量は中国、米国に次いで世界第3位です。紙の原料は木であり、再生紙を使用しても再生紙の生産するためにも二酸化炭素は発生してしまいます。そのため紙の消費を抑えることができれば、その分森林減少を食い止め、環境に貢献できるのではないかと考え社内でのペーパーレス化を目指し活動を始めました。



資料：RISIリアル・レビュー

## 年間2万枚以上の紙を削減しました システムの刷新

製品に関する情報を全て紙で保管しているため、必要な情報は全て印刷をしていました。そのため長年にわたって蓄積された文書の中から欲しい情報を探す手間や、膨大な文書を保管する場所の圧迫など、あらゆる問題が発生していました。文書管理システムを導入することにより、書類を電子化し保管ができるため、必要以上の文書を印刷する必要がなくなりました。また必要な書類も検索ができるため探す時間も殆どなくなり、膨大な文書を保管していた場所もすっきりと整理されました。

## タブレット端末を導入

受注情報や図面などを情報端末から確認することができるようになりました。作業進捗の共有や、簡単な寸法検査などが手軽にできるようになり、無駄に紙を印刷することなくなりました。



## 会議室に大型の 프로젝ターを導入

定期的に行われる会議資料も全て紙で用意すると100枚以上にも及びます。しかし会議が終わると大部分が廃棄されることも、無駄な紙の使用を節約するため会議の資料を 프로젝ターに投影し共有することにより、会議資料を減らしました。

ペーパーレス化を通して

ペーパーレス化の取り組みによって紙の廃棄が減りました。また社員一人一人が不要な印刷を控えたり紙の資材の再利用など身近なところからできることに取り組んでいます。すべての紙を電子化するにはまだ時間がかかりますが、三利特殊鋼はこれからはペーパーレス化への取り組みを続けていきます。



## 取り組みを通してこんなメリットも

- 1 印刷コストの減少
- 2 書類を探す時間が9割減少、現場でも図面を確認することができるため生産効率が向上
- 3 書類の電子化により電子帳簿保存法などの法令対応もスムーズに